

連合自治会ニュース



新しい学校づくり準備委員会はじまる

連合自治会長 山内 満

長年の懸案であった東西橋北小学校統合問題は、まだまだ議論は尽くしきれませんが、平成25年4月の複式学級回避のため、教育委員会の決断において「来年4月両校を廃止とし、西橋北小学校の地に新しい学校をつくる」と決め、「新しい学校づくり準備委員会」が10月末に発足しました。準備委員会は24名で構成され、連合自治会から3名がメンバーとして入っています。委員会の課題は、ほとんどが学校施策に特化されており、東西両PTAの代表者の皆さんの考えが反映されるもので、十分な議論と真摯な意見を期待します。新しい校名は、「橋北小学校」に決まりましたが、委員会での内容は「新しい学校づくり準備委員会だより」で回覧をし、随時お知らせさせていただきます。将来の学校ビジョンを決める重要な委員会です。教育委員会はその責任と強い指導力をもって、四日市で立派な魅力ある学校づくりをお願いしたい。同時に東西両PTAとは意見交換を継続し、その信頼関係を回復させるため、引き続き精力的に対応される事を期待します。連合自治会としても両校PTAが意見の相違を乗り越え、お互いが地域の発展に努力される事を期待しています。皆さんのご協力をよろしく申し上げます。

なお、廃校後の跡地利用については、地域の重要な施設でありますので、連合自治会としても当面現行とおりの使用が維持できるように要望しましたが、将来の利用方法については、地域の皆さまのご意見を取り入れ、進めていきたいと考えています。

自治会活動の紹介



新浜町北中の活動の一端を紹介します。前回の紹介から約6年になります。

この間の変化は、世帯数や居住されている人の数はほとんど変わりはありません。大きく変わったと感じるのは、自動車の通行量の増加で、特に通学路にあたる道では、子どもたちの安全に大変気を遣っています。保護者や老人会の皆さんによる交差点での指導など、地区全体での協力をひしひしと感じています。

町内での交通安全確保に向け、道路の破損個所の修理など、その都度お願いしてきています。最近では自転車による事故も増えているとのニュースもよく聞きます。車での移動より自転車のほうが安全だとも考えられがちですが、お互い気をつけて、無事故の町内でありたいと思っています。

新浜町北中自治会長 高波 功



橋北地区連合自治会 文化・広報部

発行責任者 山内 満

編集責任者 高波 功